

みもざ

黄色の小さく丸いお花です。毎年3月8日は国際女性デーとされており、イタリアでは「みもざの日」と呼ばれ、男性が日ごろの感謝の気持ちを込めて妻や恋人、身近な女性にみもざの花を贈る習慣があります。女性たちは家事や育児から解放され、友達と食事やおしゃべりを楽しむ日となっているそうです。

女性に対する暴力をなくす運動パネル展・ダブルリボン周知

国は、毎年11月12日から25日の2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間、11月は児童虐待防止月間と定めています。11月12日～25日の期間中、市役所西棟1階市民ロビーにてパネル展を行いました。

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成する上で克服すべき重要な課題です。

また、DVが行われている家庭では児童虐待も同時に行われている場合があります。第一に、暴力は性別・年齢を問わず決して許されるものではなく、社会全体でこの問題に取り組む必要があります。

令和2年度のパネル展は、児童家庭課と共催し、市民の皆さまにDVや児童虐待の防止について意識啓発を図りました。



ダブルリボンの配布

令和2年度はパネル展と共に、うるま市女性団体連絡協議会のご協力のもと作成したダブルリボンを市民の皆さまへ配布し、あらゆる暴力の防止・根絶に向け、事業の周知を図りました。



パープルリボン
女性に対する暴力の根絶をめざす取り組みのシンボル

オレンジリボン
児童虐待防止のシンボル

性暴力をなくそう。

国は、令和2年度から4年度までの3年間を、「性犯罪・性暴力対策の集中強化期間」としました。「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」は、その第一歩として、今後の取り組み方針を示したものです。

詳しくは、
こちらの
QRコードから▶



(右図：内閣府男女共同参画HP引用)

性犯罪・性暴力対策の強化の方針（概要）

性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」（令和2年度～4年度の3年間）

刑法に関する検討とその結果を踏まえた適切な対処

- 「性犯罪に関する刑法検討会」における検討
- 児童や障害者など被害者の事情聴取の在り方等の検討

性犯罪者に対する再犯防止施策の更なる充実

- 専門的プログラムの拡充の検討
- 出所者情報の地方公共団体への提供
- 仮釈放中の性犯罪者等へのGPS機器の装着等の検討

被害申告・相談をしやすい環境の整備

- 被害届の即時受理の徹底
- 二次的被害の防止（女性警察官の配置、研修）
- 警察の性犯罪被害者相談支援
- ワンストップ支援センターにつながるための体制の強化
 - ・全国共通短縮番号の導入、無料化の検討
 - ・SNS相談の適年実施の検討
 - ・夜間休日コールセンターの設置検討
 - ・センター等の増設の検討

切れ目のない手厚い被害者支援の確立

- ワンストップ支援センターと病院等の関係機関の連携強化
- 中長期的な支援（トラウマ対応の専門職育成、福祉との連携）
- 障害者や男性等の多様な被害者支援の充実

教育・啓発活動を通じた社会の意識改革と暴力予防

- 生命(いのち)の尊さを学ぶ教育、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための教育
 - ※「水着で隠れる部分」、SNSの危険、「デートDV」等
- 学校等の相談対応体制の強化
- わいせつ行為を行った教員等の厳正な処分（懲戒免職、告発、教員免許状の管理等の見直し）
- 社会啓発（4月を若年層の性暴力予防月間など）

方針の確実な実行

- 7月に具体的な工程
- 毎年4月にフォローアップ
- 性暴力の実態把握

令和2年度 男女共同参画啓発講座報告

思春期の心と体プログラム

令和2年9月～令和3年1月

うるま市では、男女共同参画推進事業の取組の1つとして、市内中学校を対象におきなわCAPセンターの講師を派遣して、思春期の人権とDV予防講座を開催しています。令和2年度は9校で開催しました。



生徒の感想

- ❁ 「いや」という気持ちは、自分を守るための自分へのSOSというのを知りました。
- ❁ 自分らしくていいという言葉、心にのこりました。

思春期の子どもに伝える大切な人との関係づくり

令和2年11月30日

講師：おくま ちかえ 氏、よねもとたかこ 氏 (おきなわCAPセンター)
 思春期の体の変化と心の不安定さを大人が理解してあげることや、思春期の人間関係について学び、大人から子供に伝えてあげられることを学びました。



受講者の感想

- ❁ 否定しない、共感する。子供との向き合い方を見つめ直す機会になりました。
- ❁ うなずいて聴いて、話してくれてありがとうという対応が良いという事は印象的でした。

ジェンダー&ダイバーシティ

【女性団体連絡協議会出前講座】 令和2年12月22日

あらかきまこと

講師：新垣 誠 氏 (沖縄キリスト教学院大学人文学部長)
 社会でつくられた男女の役割分担に対する固定観念を見つめ直し、CM動画でジェンダーというものを学んだ上で、ダイバーシティ、多様な性への理解を深めました。



受講者の声

- ❁ 男の役割、女の役割…人さまざまで良いのだと感じました。
- ❁ 男の役割、女の役割でも一人ひとりが個性的、自分なりに主役でありたいです。

LGBT・性の多様性

【本市職員向け講座】 令和3年 2月3日

たけうちきよふみ

講師：竹内清文 氏 (レインボーハートプロジェクトOkinawa代表)
 性的少数者への差別や偏見による生きづらさを知り、当事者の命を守るために、一人ひとりを理解することの大切さ、行政ができることを学びました。



職員の感想

- ❁ 人との違いを受け入れることはLGBTへの理解のみならず、色々な価値観の違いから生じる偏見や差別をなくすことにもつながると感じた。
- ❁ 行政の立場でできることを考える機会になりました。

LGBT知っていますか

- L** … レズビアン(女性として同性を好きになる)
- G** … ゲイ(男性として同性を好きになる)
- B** … バイセクシャル(同性も異性も好きになる)
- T** … トランスジェンダー(心と体の性に不一致を感じる)



★LGBTのみならず、人に恋愛感情や性欲を抱かない人、人に恋愛感情はあっても性欲は抱かない人、恋愛対象をそもそも男女の性別で分けない人、自身の性を男女どちらでもない、中間・中性などと感じる人など多くのカテゴリーがあります。

性的マイノリティ当事者の困った声

親がLGBTの人を見て「あり得ない」と言った。怖くて親にも相談できない

トイレに入りづらく登校したら朝から一滴も水を飲まないようにしている。

スカートの制服を着て学校へ行くのが辛い

人前で戸籍上の性別を何度も確認される

LGBTというだけで入居を断られた

SOGIについても知りましょう

Sexual Orientation：性的指向(好きになる性)

Gender Identity：性自認(心の性)

気をつけよう SOGIハラスメント

「あのオネエらしいよ」などのLGBTではないかという憶測や推測による差別的言動や嘲笑、望まない性別での生活の強要、アウティングなどSOGIハラスメントにあたります。

アウティングって？

- ・ 他人が本人の同意なく
- ・ SOGIを暴露する行為をアウティングと言います。「プライバシー侵害であると同様に生命に関わるほど」のハラスメントであるとの指摘もあります。十分な注意が必要です。

性別は男と女だけではありません。みんな顔が違うように、性別もちがいます。体の性・心の性・表現する性・好きになる性は必ずしも一致せずそれぞれの色があります。それは必ずしも決めなくてもいいし、わからなくても大丈夫です。また、「LGBTは、うちにはいないよ〜」ではないのです！当事者たちは周りの何気ない言動により、日に日に生きづらさを感じ誰にも話せなくなってしまっているのです。人は皆あらゆる場面においてマイノリティ(少数者)になりえます。人とちがうこと同じでないことは何も悪いことではありません。一人ひとりがとても大切な存在で、傷ついていい人などいません。人とちがうことを受け入れ、お互いが尊重し合い、理解し合えるような社会をめざしていきましょう。

男女共同参画国内外研修派遣補助金

「うるま市男女共同参画国内外研修派遣補助事業」は男女共同参画について学習し、男女共同参画社会の実現に向けたリーダーの育成と資質向上を図ることを目的に、参加費の一部(上限4万円)を市が補助し、市内在住者の派遣を行っています。

詳細につきましては、**男女共同参画センター(☎973-8927)**までお問い合わせください。

※男女共同参加社会づくり推進事業補助金を活用してみませんか※

- 対象団体：**①市内に在住または勤務する方によって構成されている
②構成員が概ね10名以上
③継続的に活動を行っている又は行おうとしている
④政治活動、宗教活動又は営利活動を行っていない

対象事業：男女共同参画社会づくりに関する学習会、講演会等男女共同参画社会づくりに関する意識啓発事業
その他男女共同参画社会づくりに関する事業

補助金の額：1事業あたり2万円を上限とする

※詳細につきましては、**男女共同参画センター(☎973-8927)**まで

各種相談窓口 一人で悩まないで相談してください。男女共同参画センターのHPにも掲載しています。

- うるま市女性相談室(児童家庭課内) … ☎ 098-973-5041 (月～金8:30～17:15)
- よりそいホットライン …………… ☎ 0120-279-338 (24時間通話無料)
- 中部配偶者暴力相談支援センター …… ☎ 098-989-6603 (平日8:30～17:15)
- おきなわ子ども虐待ホットライン …… ☎ 098-886-2900 (月～金17:30～翌日8:30/土日・祝日は24時間)





女性も防災に参画しよう



災害。それは、いつ、どこで、どんなときに起こるか誰もわかりません。避難所では必要な物資が不足することもあります。そんなとき備蓄の重要性に気づきます。女性と男性のニーズの違い、妊産婦や子育て家庭のニーズの把握も必要です。品目や数量については、当事者である女性が参画して、検討しましょう。個人によって品目・数量は異なりますが、一人あたり最低3日間の量を備蓄することが望ましいです。

<p>女性用品</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生理用ナプキン（普通、長時間向け等） <input type="checkbox"/> おりものシート <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル <input type="checkbox"/> 中身が見えないゴミ袋 <input type="checkbox"/> 女性用下着（各種サイズ） 	
<p>若者(女性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 女児用下着（発達段階ごとに適したサイズ、形態のもの） <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル 	
<p>妊産婦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 妊産婦用下着 <input type="checkbox"/> 妊産婦用衣類 <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル <input type="checkbox"/> 母乳パッド 	
<p>乳幼児用品</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 粉ミルク（アレルギー用含む）又は液体ミルク <input type="checkbox"/> 枕やクッション（授乳室ごとに数個）、授乳用ケープ・バスタオル等（ストールでも可） <input type="checkbox"/> 乳幼児用飲料水（軟水） <input type="checkbox"/> 哺乳瓶・人工乳首（ニップル）・コップ（コップ授乳用に使い捨て紙コップも可）・消毒剤・洗剤・洗浄ブラシ等の器具、割りばし <input type="checkbox"/> 湯沸かし器具・煮沸用なべ（食用と別にする） <input type="checkbox"/> 離乳食（アレルギー対応食を含む） <input type="checkbox"/> 皿・スプーン <input type="checkbox"/> 乳幼児用紙おむつ（各種サイズ、女児用、男児用）、おむつ用ビニール袋 <input type="checkbox"/> おしりふき 	
<p>介護用品</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ（各種サイズ、女性用、男性用）、おむつ用ビニール袋 <input type="checkbox"/> 尿取りパッド（女性用、男性用） <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 介護食（おかゆ、とろみ食、とろみ剤） <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・据置式洋式トイレ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ナースコール <input type="checkbox"/> 義歯洗浄剤 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《引用元》 内閣府男女共同参画 「災害対応力を強化する女性の視点」 ～男女共同参画の視点からの防災・ 復興ガイドライン～</p> <p>※こちらのチェックリストはそのまま切り取ってお使い になれます。お役立てください。</p> </div>
<p>外国人(女性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> スプーン・フォーク <input type="checkbox"/> ストール <input type="checkbox"/> 宗教上の理由に関わらず食べられる食べ物 	
<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プライバシーが十分に保護される間仕切り・パーティション <input type="checkbox"/> 足腰が悪い人のための寝具（段ボールベッド等） 	

もちろん災害は、備蓄だけではありません。避難所でのことも考えなければなりません。「男性は仕事、女性は家庭」という固定観念からさまざまな問題が起こりやすくなります。

すこしでもトラブルの発生を回避するために、男性も女性も右のQRコードを読み取って災害時に必要な視点を考えてみましょう。



内閣府男女共同参画局